



Level up your happiness



令和7年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス
 コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 (TEL) 045-562-8111

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第1四半期の連結業績(令和6年4月1日~令和6年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和7年3月期第1四半期	17,607	△3.8	5,723	△23.8	18,703	27.3	13,638	29.2
令和6年3月期第1四半期	18,297	△1.9	7,506	△35.6	14,687	61.6	10,552	56.3

(注) 包括利益 令和7年3月期第1四半期 19,202百万円(11.6%) 令和6年3月期第1四半期 17,200百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
令和7年3月期第1四半期	円 銭 43.18	円 銭 40.50
令和6年3月期第1四半期	円 銭 33.46	円 銭 31.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和7年3月期第1四半期	255,675	177,753	69.2	560.38
令和6年3月期	245,802	175,552	71.1	553.59

(参考) 自己資本 令和7年3月期第1四半期 176,990百万円 令和6年3月期 174,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和6年3月期	-	0.00	-	54.00	54.00
令和7年3月期	-	-	-	-	-
令和7年3月期(予想)	-	0.00	-	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年3月期の連結業績予想(令和6年4月1日~令和7年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,000	△4.3	8,000	△42.3	13,000	△44.0	10,000	△40.5	31.68
通期	90,000	6.4	30,000	5.3	40,000	△12.6	30,000	△11.2	95.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

令和7年3月期1Q	336,096,924株	令和6年3月期	336,096,924株
令和7年3月期1Q	20,259,382株	令和6年3月期	20,258,636株
令和7年3月期1Q	315,838,106株	令和6年3月期1Q	315,383,426株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、令和6年7月29日 (月) にアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国での高い金利水準や中国における景気の下振れリスクがあるものの、持ち直しが続くことが期待されます。

第3次中期経営計画の最終年度となる当期は、グループ経営方針として「グローバルIPの創造と展開」を掲げ、各種施策に取り組んでいます。当社グループにおけるタイトルラインナップの拡充のため、「AAAスタジオ」を新設しました。中長期的な成長を果たしていくために、大型タイトルを継続的に発売できる体制の構築を進めてまいります。

当第1四半期は、パッケージゲームにおいて『Rise of the Ronin』等のリピーター販売が中心となりました。スマートフォンゲームでは既存タイトルが前期に引き続き安定して収益に貢献しました。

新規のスマートフォンタイトルの配信開始による売上貢献があった前年同期に対し、当四半期は新規タイトルの配信が無かったため、売上高は前年を下回りました。また、自社運営のスマートフォン向けタイトルが前年より2タイトル増加したこと等による費用増により、営業利益は前年比で減少しました。金融市場の動向を注視しながら運用を行い、受取利息、有価証券償還益等を計上したことで、営業外収支は前年同期比で大幅に増加しました。

これらの結果、売上高176億7百万円(前年同四半期比3.8%減)、営業利益57億23百万円(同23.8%減)、経常利益187億3百万円(同27.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益136億38百万円(同29.2%増)となり、経常利益、四半期純利益は第1四半期として過去最高の業績を達成しました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

エンタテインメント事業 売上高 165億81百万円 セグメント利益 57億1百万円

「シブサワ・コウ」ブランドでは、『信長の野望 覇道』が配信1.5周年を記念したキャンペーンで当社の「戦国無双」シリーズとのコラボイベントを実施しました。

「ω-Force」ブランドでは、シリーズ最新作のタクティカルアクション『真・三國無双 ORIGINS』(PS5、Xbox Series X|S、Windows(Steam)用)を2025年に発売予定であることを発表しました。また、『Fate/Samurai Remnant』のダウンロードコンテンツ第3弾「断章・白龍紅鬼演義」を6月に配信しました。

「Team NINJA」ブランドでは、前期末に発売した『Rise of the Ronin』^(※1)のリピーター販売に注力しました。

「ガスト」ブランドでは、『FAIRY TAIL 2』(PS5、PS4、Nintendo Switch、Windows(Steam)用)が今冬発売予定であることを発表しました。『レスレリアーナのアトリエ ～忘れられた錬金術と極夜の解放者～』は前期に続き堅調に推移しました。

「midas」ブランドでは、位置情報ゲーム『信長の野望 出陣』において、地域の伝統行事とのコラボレーションイベントを実施しました。

「ルビーパーティー」ブランド、「AAAスタジオ」では、新規タイトルの開発に注力しています。

IP事業においては、当社がIPを許諾している『三国志・戦略版』(国内では『三國志 真戦』)が全世界累計1億ダウンロードを突破するなど、引き続き収益に寄与しました。

※1 発売元はソニー・インタラクティブエンタテインメント社

アミューズメント事業 売上高 7億57百万円 セグメント利益 15百万円

アミューズメント施設は、既存店売上高が好調に推移しました。スロット・パチンコでは、液晶ソフト受託開発に取り組んでいます。

不動産事業 売上高 2億80百万円 セグメント利益 65百万円

ライブハウス型ホールKT Zepp Yokohamaは、引き続き高い稼働率となりました。

その他事業 売上高 78百万円 セグメント損失 58百万円

ベンチャーキャピタル事業において、ファンドの管理費用が発生しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して98億72百万円増加し2,556億75百万円となりました。これは主に、投資有価証券が89億49百万円、現金及び預金が42億34百万円それぞれ増加した一方で、売掛金及び契約資産が41億41百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して76億71百万円増加し779億21百万円となりました。これは主に、短期借入金が90億円、繰延税金負債が20億54百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が29億89百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して22億1百万円増加し1,777億53百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が45億97百万円増加した一方で、利益剰余金が34億16百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年4月30日に公表した令和7年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。今後、業績予想数値に修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,702	15,936
売掛金及び契約資産	15,041	10,900
有価証券	58,393	59,063
商品及び製品	50	60
仕掛品	104	34
原材料及び貯蔵品	100	93
その他	7,561	7,777
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	92,951	93,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,760	19,665
土地	14,624	14,624
建設仮勘定	366	502
その他（純額）	1,725	2,111
有形固定資産合計	36,477	36,903
無形固定資産		
その他	231	223
無形固定資産合計	231	223
投資その他の資産		
投資有価証券	106,590	115,539
繰延税金資産	933	175
退職給付に係る資産	4,466	4,634
その他	4,833	5,078
貸倒引当金	△681	△744
投資その他の資産合計	116,141	124,683
固定資産合計	152,851	161,810
資産合計	245,802	255,675

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,046	1,378
短期借入金	-	9,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	46,536	46,335
未払金	7,459	7,691
未払法人税等	6,538	3,549
賞与引当金	1,730	830
役員賞与引当金	259	78
その他	5,358	5,470
流動負債合計	68,928	74,334
固定負債		
繰延税金負債	391	2,446
その他	930	1,141
固定負債合計	1,322	3,587
負債合計	70,250	77,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	27,428	27,428
利益剰余金	163,070	159,654
自己株式	△37,765	△37,766
株主資本合計	167,733	164,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,157	8,754
土地再評価差額金	△3,115	△3,115
為替換算調整勘定	4,792	5,784
退職給付に係る調整累計額	1,275	1,250
その他の包括利益累計額合計	7,110	12,673
新株予約権	707	763
純資産合計	175,552	177,753
負債純資産合計	245,802	255,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
売上高	18,297	17,607
売上原価	6,297	6,840
売上総利益	11,999	10,766
販売費及び一般管理費	4,492	5,043
営業利益	7,506	5,723
営業外収益		
受取利息	2,953	4,917
受取配当金	196	273
投資有価証券売却益	4,871	850
有価証券償還益	-	1,649
デリバティブ評価益	2,842	5,883
為替差益	593	209
その他	30	9
営業外収益合計	11,489	13,792
営業外費用		
投資有価証券評価損	448	348
投資有価証券売却損	3,742	0
有価証券償還損	-	61
デリバティブ評価損	38	316
その他	78	85
営業外費用合計	4,308	812
経常利益	14,687	18,703
税金等調整前四半期純利益	14,687	18,703
法人税、住民税及び事業税	3,487	4,634
法人税等調整額	647	430
法人税等合計	4,135	5,065
四半期純利益	10,552	13,638
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,552	13,638

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
四半期純利益	10,552	13,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,596	4,597
為替換算調整勘定	1,047	991
退職給付に係る調整額	4	△25
その他の包括利益合計	6,648	5,563
四半期包括利益	17,200	19,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,200	19,202

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,089	907	299	18,295	1	18,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	-	2	31	78	109
計	17,117	907	301	18,326	80	18,407
セグメント利益又は損失(△)	7,329	203	31	7,564	△57	7,506

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,564
「その他」の区分の損失(△)	△57
四半期連結損益計算書の営業利益	7,506

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,567	757	280	17,605	2	17,607
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	-	-	14	75	90
計	16,581	757	280	17,620	78	17,698
セグメント利益又は損失(△)	5,701	15	65	5,782	△58	5,723

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,782
「その他」の区分の損失(△)	△58
四半期連結損益計算書の営業利益	5,723

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
減価償却費	404百万円	450百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。